

浄土真宗の救いのよろこび

「浄土真宗の救いのよろこび」は、親鸞聖人が明らかにしてくださった、阿弥陀如来のご本願の救いと、それに出遇えたよろこびを、わかりやすい言葉で示した、拝読用の文章です。親鸞聖人750回大遠忌法要を記念して発行された『拝読 浄土真宗のみ教え』に収載されています。さまざまなご法要やご法座、あるいは日々の勤行の際に、皆様とご一緒に声に出して拝読し、親鸞聖人のみ教えに出遇えた喜びを深めてまいりましょう。

1 阿弥陀如来の本願は

かならず救うまかせよと
南無阿弥陀仏のみ名となり
たえず私によびかけます

2 このよび声を聞き開き

如来の救いにまかすとき
とわ ともしび
永遠に消えない灯 火が
私の心にともります

3 如来の大悲に生かされて

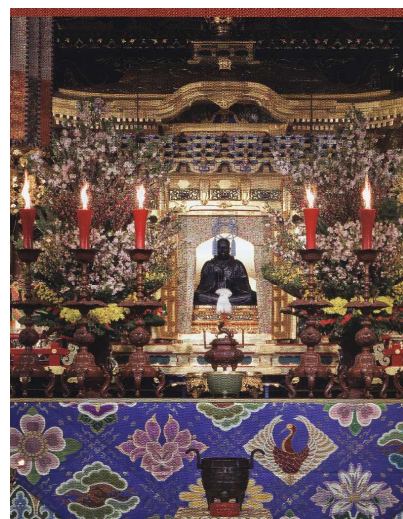
御恩報謝のよろこびに
南無阿弥陀仏を称えつつ
まことの
真実の道を歩みます

4 この世の縁の尽きるとき

如来の浄土に生まれては
さとりの智慧をいただいて
あらゆるいのちを救います

5 宗祖親鸞聖人が

如来の真実を示された
浄土真宗のみ教えを
共によろこび広めます



【京都 本願寺 御影堂
お内陣 親鸞聖人座像】